

日本においてもやっと癌以外の方への緩和ケアが一般にも広がる気配が出てきています。日本における死因の第一位は「がん」ですが、それでもおよそ 1/3。他の多くの方はがん以外の疾患で亡くなっています。今回は認知症・慢性腎不全・神経難病の3つに絞って、その終末期にどう寄り添うのかを考えます。そこにはどうしても生命倫理の問題が絡んできますので、日本臨床倫理学会の箕岡真子さんにコメントをいただきながら、生活の場でどうホスピスケアを展開していくかを検討したいと思います。多くの介護職の方々の参加をお待ちしております。非がん患者さんの終末期に向き合っていく力を身に着けていきましょう。